

(17) エセックス・マナー
ニ號坐礁関係

F-0149

0170

電信課長
印

大臣

次官

東亞
歐洲
米洲
通商
條約
情報
文化
調査
人事
文書
會計
會社
秘書官

寫送先

(分類/種別/原/送/先/明/示)

件名
外務省
船舶遭難
見定
様

昭和12 一六九六一 平

札幌 二日後發
本省 八月二日後着

歐

廣田外務大臣

(同文電報)

北海道長官

英國「メルドラムスユニオン」汽船會社所有同國「ダツテエンドル
セツト」汽船會社備船「エセツクスマナー」號(四九九三噸)ハ木
材ヲ滿載北米「ポートランド」ヨリ上海ニ向フ途中室蘭ニ寄港豫定
ノ處八月一日午後三時頃濃霧ノ爲管下幌泉村襟裳岬附近ニ坐礁シ船
體救助ノ見込ナキモ船長以下三十五名ノ乗組員(英國人)ハ別條ナ
シ、乗組員ノ措置ニ付テハ本邦退去迄ノ一切ノ責任ヲ負ハシムヘク
代理店タル三井物産株式會社船舶部小樽支店ト折衝中ナリ(了)

外務省

F-0149



歐亞局

外丁秘第五四四〇號

昭和十二年八月七日

北海道廳長官 石黒英彦

内務大臣 馬場銈一殿
外務大臣 廣田弘毅殿
各廳府縣長官殿

抄
英國汽船「エセツクスマナ」號ノ坐礁ニ関スル件

要旨

一英國汽船「エセツクスマナ」號ハ木材ヲ滿載北米「ポートランド」ヨリ上海ニ向
フ途中室蘭寄港予定ノ処濃霧ノ爲管下襟裳岬沖合ニ坐礁シ船体救助見込ナ
二船長以下乗組員三十四名アリ何レモ英國人ナルガ生命ニ別狀無シ
三船主ヨリ在横濱コンス高会ニ本件善後措置方依頼シタル趣ナルモ乗組員ノ
飯國方法ニ関シテハ未ダ決定スルニ至ラズ

船主 倫敦市イーシートカンモマイル街九

メルドラムススエンソン汽船會社

傭船主 北米オレゴン州ポートランド

ダツテエンドラツセル汽船會社

船名 エセツクスマナ一號 總噸數 四九九三噸

船長 英國人 ジェーアルピーク

乗組員 英國人 三十三名 内上級 九名 下級 四名

右船舶ハ本月二日電報ヲ以テ既報(除各廳府縣)ノ如ク北米
「ポートランド」ニ於テ木材ヲ滿載シ上海ニ向フ途中炭水補
給ノ爲管下室蘭ニ寄港予定ノ處濃霧ノ爲針路ヲ誤リ本月
一日午後三時頃管下幌泉郡幌泉村襟裳岬沖合ニ於テ暗礁
ニ乗揚ゲ船体救助ノ見込ミ乏ク船長以下乗組員ノ措置
ニ関シテハ未ダ最後の決定ヲ見ルニ至ラズ目下折衝中ナ

名 件
外國船舶遭難關係雜件

昭和十二年八月拾參日接受

ルモ其ノ状況左記ノ通ニ有之
右及申(通)報候也

記

一 遭難状況

ノ坐礁ノ日時

八月一日午後三時頃

2 坐礁ノ場所

北海道幌泉郡幌泉村大字小越村襟裳岬突端ヨリ約一
哩沖合(北緯四十一度三五分東經百四十三度十五分)

3 坐礁ノ原因

現場附近ハ襟裳岬突端ヨリ約三哩ニ亘リ岩礁点在シ
其ノ間幾多ノ暗礁アリ附近一帯ハ潮流激シク加之暖
流寒流ノ交流スル關係上濃霧甚シク坐礁當時ハ陸上

(2)

ニ於テモ自動車運轉ニ支障ヲ来ス程度ノ濃霧アリ爲

ニ針路ヲ誤リ暗礁ニ乘リ揚ゲタルモノナリ

4 坐礁ノ状況

船底ノ前部及中央部ハ暗礁ニ接觸シ波浪ニテ漸次船
底損傷拡大シ防水ノ餘地無ク坐礁後約二十時間ニシ
テ海面ト同程度ニ浸水シ同日五時頃ニ至リテ船尾上
甲板ハ既に水面ニ没シ離礁救助ノ見込無キニ至レリ

ニ救助状況

ノ船体救助關係

坐礁當時船長ハ其ノ程度ヲ軽視シ救助信號ヲ発セズ
室蘭港ニ於ケル燃料炭取引契約ヲ爲シ居ル三井物産
株式会社室蘭出張所ニ坐礁ノ事實ヲ打電シ更ニ日本
カレッジエージ株式会社函館出張所ニ社員派遣方電請

セリ依テサルヴェージ出張所ニ於テハ潜水夫及技師
ヲ現場ニ急派調査セルモ離礁作業極メテ困難ノ断案
ヲ下シ船体救助ノ作業ヲ開始セス

2. 乗組員ノ救助

船内侵水甚シクナルニ伴ヒ船体ノ動搖激シク船底ハ
暗礁ニ乗り揚ゲ居ルト雖モ何時覆没スルヤモ計リ難
キ状況ナルヲ以テ坐礁ノ翌日機関部員其ノ他十七名
同月三日六名同月四日更ニ六名合計二十九名ヲ一時
上陸セシメ前記小越村柳田穴田両旅館ニ收容シ散步
区域ヲ指定シ保護取締中ナルガ船長以下五名ハ船体
監視等ノ為退船ヲ肯ゼズ舷側ニ発動機船ヲ常備待機
セシメ避難準備ヲ完了シテ未ダ坐礁船ニ残留中ナリ
三乗組員ノ措置方策

3)

1. 三井物産室蘭出張所トノ交渉

坐礁當時船長ハ離礁ノ可能ヲ信ジ乗組員ノ措置ニ関
シテハ格別對策ヲ講ゼザリシモ船底ノ損傷意外ニ大
ナルト當廳ノ悠蕪ニ依リ船体救助並ニ乗組員ノ措置
一切ヲ三井物産株式会社ニ依頼セルモ同所ニ於テハ
單ニ炭水補給ニ関スル契約ヲ爲シ居ルニ過ギザル爲
其ノ申出ヲ拒絶セリ

2. 船主ヨリノ指令

船長ヨリ事情ヲ具シ在倫敦船主ニ之ガ指揮ヲ受クル
ニ本月三日夜ニ至リ一切ハ

横浜市中区山下町八一番地

コンソス高會

ニ依頼シタルニツキ其ノ指示ニ従フベシトノ指令ア

リタリ

3. コンス商會ノ對策

在横浜「コンス商會」ニ於テ本月四日前記三井物産株式
会社室蘭出張所宛坐礁船ノ善後措置方依頼アリシモ
本社ノ指令無キ故ヲ以テ拒絶シタル處同五日ニ至リ
更ニ小樽市色内町七丁目

セールル商會小樽支店支配人

独乙人 エイチアルフアクトマン

ニ同様依頼越アリ同人ハ目下其ノ具体策ニツキ「コ
ンス商會」ト打合中ニシテ未ダ最後の決定ヲ見ルニ至ラ
ズ

四 船体積荷ニ對スル措置

ノ船体ニ對スル措置

船体ハ目下ノ處離礁絶望視サレ居ルモ在倫敦ロイド
保險会社ト保險契約ヲ結ビ居ル關係上目下同保險會
社ト日本「サルヴェー」ジ株式会社函館出張所トノ間ニ
折衝中ノ模様ナリ

2. 積荷ニ對スル措置

木材約七千五百屯積載シ居ル処右ハ北米ポートラン
ド外ニヶ所ニ於テ積取り上海ニ輸送スベキモノナル
ガ送荷主ニ於テ海上保險ヲ附シ居ル關係上送荷主又
ハ海上保險会社ノ指令無キ限り船長ニ於テ處分スル
ヲ得ザル趣ニシテ且目下ノ処積載貨物ノ揚陸困難ト
觀測セラル然レ共右木材流失スルニ於テハ海上漂流
中昆布礁ヲ破壊スルノ結果同地方特産物タル昆布ノ

4)

著シキ減收ヲ未ス虞アリテ沿岸漁民ハ恐慌ヲ来シツ
ツアリ其ノ結果如何ニ依リテハ損害賠償要求等ノ紛
議發生スルニ非ザルヤトモ思料セラレル狀況ニ在リ

(了)

(5)

F-0149

0176

外國船舶遭難關係雜件

外丁教第五四四。號

昭和十二年八月十八日

北海道廳長官 石黒英彦

内務大臣 馬場 鑓一 殿
外務大臣 廣田 弘毅 殿
各廳府縣長官 殿

英國汽船「エセツクスマナ」號ノ坐礁ニ関スル件

要旨

一 管下幌泉村襟裳岬ニ坐礁セル英國汽船「エセツクスマナ」號ハ日本「サルヴェー」株式会社にトノ間ニ契約成リ目下引揚作業中ナルモ矢敗ニ終ルベク觀測セラル
二 乗組員ハ在函館英國領事官事務官ノ身許引受ニ依リ入國特許シタルガ船体引揚ノ結果判明セザルヲ以テ目下函館市ニ帯在中

船主倫敦市

メルドラムスエソンソン汽船會社
船名 エセツクスマナ 號 總噸數四九九三噸
船長 英國人 ジェー・アール・ピーク
船員 英國人 三十三名

右船舶ハ本月七日附本誌既報ノ如ク北米「トランド」ニ於テ木材ヲ荷載シ上海ニ向フ途中炭水補給ノ爲管下室艙ニ寄港予定ノ処濃霧ノ爲針路ヲ誤リ本月一日管下幌泉郡幌泉村襟裳岬ヨリ約一哩ノ沖合ニ坐礁シ船体ノ引揚乗組員ノ措置ニ関シ關係方面ト折衝中ノ処日本「サルヴェー」株式會社函館出張所ニ於テ目下船体引揚作業ニ着手シ其ノ成功覺束ナシト觀測セラレツアルモ其ノ最後的決定ヲ見ザル爲船長以下全乗組員ハ函館市ニ帯在中ナルガ状



况詳細左記ノ通ニ有之
石及申(通)報候也

記

一 船体引揚ノ關係

既報ノ如ク暗礁ニ乘リ揚ゲ船底ノ損傷相當大ナル模様
ニシテ本月七日頃ニ至リ上甲板ノ後半ハ水面ニ没シ離
礁ハ全ク困難ノ狀況ニアリ本月九日ニ至リ本船ニ對シ
船体保険契約ヲ爲シ居ル在倫敦ロイド^①保險會社ノ本邦
出張員神戸市神戸区江戸町八八

英國人

エルエムカーター

當三十二年

未道現地ニ至リ調査ノ上日本サルヴエー^②株式會社運
館出道所代表上田技師ト折衝ノ結果本月十四日ニ至リ
ノ船体引揚ヲ爲シ得タル時ハ報酬金二十万圓

(=)

二 引揚失敗ニ終リタル場合ニハ一日金一千二百五十円宛
ヲ授受スルコトニ契約成リ即日引揚作業ニ從事セルモ
目下ノ処引揚不能ト傳ヘラレソツアリテ九月二日迄ニ
最後の決意ヲ見ル趣ナリ

ニ 乗組員ノ措置

ノ船主側ノ對策

既報ノ如ク在倫敦船主ハ横浜市中區山下町八一^③コ
ス高會ニ一切ノ措置ヲ依頼シ同高會ニ於テハ更ニ

小樽市色内町七丁目

セール高會小樽支店支配人

独之人 エイチアルファクトマン

ニ對シ依頼セルモ其ノ具体策ニツキ意見ノ一致ヲ見
ズ在再トシテ不安定ノ儘ニアリソヲ以テ船長ヲ督勵

交渉セシメタル結果全乗組員ノ滞留旅行等ノ一切ハ
前記「コンス高會」ニ於テ負担スルコトニ決定セリ
2. 入國特許

前記ノ如ク船体救助ノ見込薄トナルニ及ビ全乗組員
ハ一時入國ヲ特許シ便船ヲ得テ返國セシムル關係上
確實ナル身元引受ヲ爲サシムルノ要アル処函館駐在
英國領事々務官旧露國人「エイジイデンビ」ヨリ全乗
組員ノ本邦滞留中身元ヲ引受ケ一切ノ責任ヲ負フベ
キ旨ノ請書提出アリ仍テ

- (1) 乗船予定地迄最短経路ヲ採ルコト
- (2) 途中船車ノ待合時間以外ノ滞留ヲ許サズ
- (3) 途中ハ輸送指揮者ヲ定メ其ノ統制ニ服シ單独行動
ヲ爲サザルコト

(4) 帝國官憲ノ指示ニハ絶対ニ従フベキコト
ノ條件ヲ附シ入國ヲ特許セリ

3. 全員現地出發

然ルニ目下日本「サルグエー」株式會社ニ於テ船体引
場作業ヲ爲シ居ル爲之ガ最後の決定ヲ見ル迄現地帯
在ヲ希望シ居ルモ坐礁地附近ハ今夏以來第七師團當
局ニ於テ工兵隊ヲ駐屯セシメ歩兵騎兵砲兵等隨時入
リ込ミ極秘裡ニ敵前上陸演習ヲ行ヒツツアル処ニシ
テ外國人ノ滞在ハ全ク好マシカラス且師團當局ヨリ
ノ申出モアリシヲ以テ現地滞在ヲ許サズ本月十四日
乗船退邦豫定地タル函館市ニ向ケ出發センメタル処
翌十五日早朝函館市ニ到着目下市内西川町萬代屋全
寶町丸柙屋ノ二旅館ニ分宿滞在中ナリ

(三)

三 積荷ニ對スル措置

本船ニハ既報ノ如ク木材約七千五百屯ノ積荷アリ之ガ
流出スル場合ハ沿岸漁民ノ生命線ト稱スル昆布礁ヲ破
壞スル虞アル処船体引揚作業ヲ引受ケタル日本サルヴ
エージ株式会社函館出張所ニ於テ船体浮揚ノ爲積載木
材ヲ海中ニ投棄スルモ之等木材ハ總テ

横浜市中區眞砂町三丁目

甘粕合名会社 岩崎 鶴 統

ニ於テ集拾揚陸スルコトニ契約ヲナシ目下々々作業中
ナルヲ以テ沿岸漁民ノ杞憂ハ一應解消セリ

(了)

(12)

通商局

外丁秘第五四四。號

昭和十二年八月二十四日

北海道廳長官 石黒英彦

内務大臣 馬場銜一殿
外務大臣 廣田弘毅殿

各廳府縣長官殿

通商總務課

英國汽船「エセックス」號

坐礁ニ関スル件 (第三報)

對號 本月七日附本號當廳

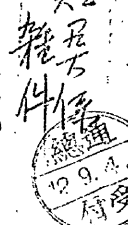
倫敦市メルドラムスエソンソン汽船會社所有

英國汽船 エセックスマナー號 總噸數四九九三噸



外國船舶遭難 五右衛門

昭和十二年八月廿八日接受



12.8.20.4

右船舶ハ北米ポートランドニ於テ木材ヲ荷載シ上海ニ向
 フ途中炭水補給ノ爲管下室蘭ニ寄港予室ノ處濃霧ノ爲針
 路ヲ誤リ本月一日管下燈泉郡燈泉村襟裳岬ノ一渾沖合ニ
 坐礁シ船主側ノ依頼ニ應シ日本「サルヴェー」ジ株式会社運
 館出張所ニ於テ救助船那須丸ヲ派遣シ船体引揚作業中ノ
 趣茲ニ船長以下三十四名ノ乗組員ハ在函館英國領事々務
 官「エイ・シー・テンビー」ノ身元引受ニ依リ入國特許ノ上該船
 船ノ最後の運命ノ決定スル迄函館市ニ滞留センメツツア
 ル趣對號既報ノ處其ノ後救助船那須丸ハ坐礁船甲板ニ積
 載ノ木材全部ヲ一旦海中ニ投ジ船體ニ水浸シノ木材浮遊
 カヲ利用シ滿潮ニ乗シテ曳船シタル處本月十九日午後一
 時頃遂ニ離礁シタルヲ以テ直ニ船底損傷部分ニ應急修理
 ヲ加ヘ那須丸ノ傍船ニ係丸ノ應接ヲ得テ二隻ニテ曳船全

二十一日午前十時現地出發翌二十二日午前十一時室蘭
入港スルヲ得タルモ未ダ水船(各船艙内福水)ノ修ニシテ
入渠ノ上修理ヲ爲スニ非ザレハ自力航行不能ナルヲ以テ
函館ヨリ室蘭ニ急行セル船長「シエール」及既報未
道中ノ神戸市神戸區江戸町八八

ロイド保險會社出張員
英國人 エルムカリー

等協議ノ上函館横浜浦賀ノ各船渠會社ト交渉中ナリ
石及申(通)報候也

(=)

(ア)

外國船舶簿籍係件

歐亞局

外務部才五、四、四〇、第

昭和十二年九月二十日

警務長

昭和七年九月廿四日接受



北海道庁長官 石川嘉兵衛

内務大臣馬場錠一殿
外務大臣松田弘毅殿
各府省長官

英國汽船「エセックス、マナー」號ノ

坐礁ニ関スル 係 (才四報)

封報

本年八月七日付本報
八月十八日付本報
八月二十四日付本報

一、船体ハ横濱船渠ニ於テ修理スルコトニ決シ本月十九日船長「マナー」
ピーク以下五名乗員日本「サル」社「エー」社「エー」社「エー」社「エー」社
ニ乗リ去リ

要旨

蘭州汽船後ニ向ハリ

二、入國特許ヲ得テ乗員等ニ際在中ノ乗員一等運載士「ジョン、デイ、ベン
ネット」以下二十名ハ本月十五日陸路横濱ニ向ケ去リ

倫敦市メルトラムス、スエソン汽船会社所有

英國汽船 エセックス、マナー 號

總噸數 四九三噸

管下豐永郡豊永村襟裳岬ノ約一哩沖合ニ坐礁セル右汽船ニ
関シテハ厚報ノ如ク其ノ右船体ノ措置乗員ノ救助等凡記
ノ通ニ有之

右及申(五)救済也

記

一、船体ノ措置

日本「サル」社「エー」社「エー」社「エー」社「エー」社
株式会社「エー」社「エー」社「エー」社「エー」社「エー」社
ノ午ニ救助

セシレ管下室蘭港ニ入港シ知急修理中ノ「エセツクス、
マナー」那ハ其ノ后船主側ノ交渉ニ依リ船体ハ横濱船
渠株式会社ニ於テ根本的修理ヲ加ヘルコトニ決定シ諸
般ノ準備ヲ整ヘ船長「ジョー、アール、ヒーク」外四等機士
士、無電技師、船長及ホーイノ合計五名ハ本船ニ便乗
シ本月十九日午前十一時日本「サルヴェー」社汽船
三保丸及那須丸ノ二船ニ曳行セシレ横濱ニ向ケ令港セリ
而シテ之ヲ船体ノ修繕ニハ約二百万円ヲ要スル模様ナリ
尚本船ニ対スル船体保険契約手續ニテ既報未遂中ノ

倫敦「ロイド」保険株式会社

神戸市神戸区江戸町八

本邦出張員英人「エル、エム、カーター」

昭和十一年

ハ船体ノ措置為記ノ通次スルヤ本月十八日午後六時三
十五分室蘭港列車ニテ陸路帰神セリ帰途中格別客疑ノ
虞ヲ認メス

ニ乗組員ノ多辭

亞級駐在英國領事々務官ノ身元引受ケニ依リ入國特許
ヲ得亞級市西川町万代屋合市室所丸林屋ノ二旅館ニ分
宿滞在申ノ本船乗組員英國人二十九名ハ前記英國領事
々務官ニ於テ横濱市コンス商会ト打合セノ上船体修理
地タル横濱市ニ滞在セシメルコトニ決定シ一等運転士
「ジョーン、テイ、ベン、ネット」引率者トナリ外二十八名ハ
本月十五日午後五時亞級發青函連絡船ニテ陸路横濱ニ
向ケ令發セリ(神奈川県ニ對シテハ電報セリ)
而シテ本名等滞在中ハ別途既報ノ通告所迄亞級

高等女學校生徒二名トノ親交午偏アリタル外格別容疑
ノ行跡無之

(寫函、函水、堂水、捕向各署)

(了)

(C)